

平成27年度 しが生物多様性大賞 受賞活動

1. 活動の名称

工場の部材を有効活用した 琵琶湖の生物多様性保全活動

2. 活動の概要

目的・目標	滋賀県の進める「豊かな生きものを育む水田づくり」において魚が田んぼに遡上できる環境づくりに貢献する為、工場の部材(端材)を有効活用し、部材の提供、製作・設置を協働で行うこと。
活動エリア	滋賀県 栗東市、高島市、東近江市、甲賀市
活動の参加者	①積水化学工業株式会社 滋賀栗東工場 ②滋賀県 農政水産部 農村振興課 ③栗見出在家町 魚のゆりかご水田協議会 ④循環型社会創造研究所 えこら
活動時期	平成26年4月～現在活動継続中

3. 取組内容

- ・積水化学工業(株)滋賀栗東工場は、「水環境ビジネス」に関わる、塩ビパイプや、合成木材(商品名:FFU)等の製造を行っています。製造段階で発生する端材は、破砕機にて、破砕し、原材料として再使用することで、環境にやさしいリサイクル製品の製造も行っております。
- ・しかしながら、リサイクルするために新たなエネルギーを消費しているため、端材をそのまま有効活用出来る取組を滋賀県及び地域自治体と検討してきました。そこで、滋賀県が進めている「魚のゆりかご水田プロジェクト」に参画し、これまで、間伐材で製作されていた魚道の堰板や、魚を田んぼに呼び戻す一筆魚道に合成木材(FFU)の端材を活用することで生物多様性保全活動を実施しました。
- ・また、他地域では、水田内水路の土留め板として合成木材を提供・設置しました。
- ・更に、塩ビパイプの端材を水田内水路に設置し、生き物の住処となるかを検証し、観察を実施しました。
- ・また、市民団体循環型社会創造研究所「えこら」とコラボし、工場内の資源物を「えこら」を通して売却し、環境保全団体への寄付金となる仕組みづくりをしました。工場内で発生する古紙の回収率をアップさせる為、シュレッダーくず削減運動を工場内にて展開し、シュレッダーくずを半減することができました。



合成木材FFUの端材を活用して、「一筆魚道」を製作・設置



ゆりかご水田オーナーとして登録し、いきもの観察会に参加

4. 今後の課題・将来像等

- ・当社(当工場)としては、「水環境ビジネス」を通して、滋賀県と深く関わっており、今後も同活動を他の地域にも広めることで、地域環境貢献を進めていきたいと考えてます。
- ・また、今回の活動では、合成木材FFUの端材を活用することで、田んぼに魚が遡上できる環境づくりに貢献しましたが、当工場の他の部材を活用した環境活動がさらに展開できないか考えております。
- ・工場では端材として扱われるものも、うまく活用することで、お金をかけることなく、地域及び生態系に良い影響を及ぼすことができることを広くPRし、滋賀栗東工場のみならず、積水化学工業全体として、同様な環境貢献活動が広がることを期待しております。
- ・また、端材を活用することは、廃棄物の削減、リサイクルに使用するエネルギーの削減にもつながります。
- ・本活動を通して、滋賀県及び地域自治体との関係もより密接となり、本業の「水環境ビジネス」への展開にもつなげていきたいと考えております。

5. 連絡先等

積水化学工業株式会社 滋賀栗東工場
〒520-3081
滋賀県 栗東市 野尻75
TEL:077-553-0785
FAX:077-552-5993
(担当:安全環境課 藤本)